

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

記

研究の名称	耳下腺内顔面神経の周囲の構造の解析
対象	2018 年 7 月から 2024 年 3 月までの期間に、当科で耳下腺全摘出術を受けた患者さんの手術標本（耳下腺）5 例を研究に利用します。また、同期間に当院解剖学教室に提供された献体 15 例の耳下腺を研究に利用いたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2024 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	利用目的：耳下腺内を通る顔面神経の周囲の構造を詳しく調べることで、将来、耳下腺手術における顔面神経温存のための技術を向上させることを目的としております。 意義：耳下腺内を顔面神経が通っており、耳下腺の手術の際には顔面神経を触らなければならないため、手術の後に顔面神経の麻痺を生じる場合が少なくありません。手術で温存する際に重要となる耳下腺内の顔面神経の周りの構造について詳しく調べることで、手術をより向上させたいと考えております。 利用方法：患者さんの情報を、当院の診療記録から収集し、抽出した情報を基に統計解析を行います。抽出する診療情報は、診療情報と同様に厳重に管理され、個人を特定できる情報が漏れることはありません。研究結果は、個人を特定できないように対処したうえで、学会や学術誌で発表される予定です。本研究は日常診療を行った後に情報をまとめる形で行われる研究（観察研究）ですので、参加

	することによる直接的な利益や不利益はありません。また、本研究へ参加することで、新たに発生する自己負担はありませんし、謝礼金などありません。 対象者の方（あるいは代理人）の申し出により、他の対象者等の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究に関する資料を入手や閲覧できますので、ご希望される際は、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	試料：耳下腺組織 情報：①背景情報（年齢、性別、病歴、診断名、治療歴、全身疾患の有無など）、②臨床所見（疼痛、腫瘍可動性、顔面神経麻痺の有無など）、③画像所見、④手術所見（顔面神経の処理、術式など）
研究者名 【研究責任者】 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 講師 東野 正明	
参加拒否の申し出について ご自身の試料（耳下腺組織）や診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。	
<問い合わせ窓口> 【研究機関】 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号 大阪医科薬科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 担当者 東野 正明 連絡先 072-683-1221（代） 内線 2359	

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 佐野 浩一 殿

大阪医科薬科大学病院

担当者 東野 正明 殿

課題名	耳下腺内顔面神経の周囲の構造の解析
-----	-------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否いたします。

年 月 日 対象者

住所

氏名（自署）